※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校 新地理総合（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は、プリントで学習を進めていきます。必ずファイルにまとめ、なくさないようにしてください。板書をそのまま書き写すだけではなく、話を聞いて大事だと思ったところに線を引いたり、メモを取るなど自分で工夫してください。
・教科書と地図帳は必ず準備し、知らない地名が出てくれば地図帳を見るようにしましょう。
・「虫の目（部分の把握）」「鳥の目（全体の把握）」「魚の目（流れの把握）」の様々な角度から物事を見る力をつけましょう。

２　学習の到達目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)現代世界の地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、考察したことをまとめて説明したり、それらをもとに議論したりすることができる。	よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究・解決しようとする力を身につけ、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　地図と地理情報システム	1節　地球上の位置と時差 2節　地図の役割と種類	a:地図の読図などをもとに、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身につけている。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート プリント提出	 プリント提出 振り返りシート 行動観察
	第2章　結び付きを深める現代世界	1節　現代世界の国家と領域 1　現代世界の国家 2　日本の位置や領域 2節　グローバル化する世界	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などをもとに、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 b:現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート プリント提出	 プリント提出 振り返りシート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

2学期	第1章　生活文化の多様性と国際理解	序説　生活文化の多様性 1節　世界の地形と人々の生活 2節　世界の気候と人々の生活 3節　世界の言語･宗教と人々の生活 4節　歴史的背景と人々の生活 5節　世界の産業と人々の生活	a:世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート プリント提出	 プリント提出 振り返りシート 行動観察
	第2章　地球的課題と国際協力	1節　複雑に絡み合う地球的課題 2節　地球環境問題 3節　資源･エネルギー問題 4節　人口問題 5節　食料問題 6節　都市･居住問題	a:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、都市・居住問題などをもとに、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題の関連性について理解している。 b:　世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題、都市・居住問題などの課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート プリント提出	 プリント提出 振り返りシート 行動観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	第1章　自然環境と防災	1節　日本の自然環境 2節　地震・津波と防災 3節　火山災害と防災 4節　気象災害と防災 5節　自然災害への備え	a:世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害もとに、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着手して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート レポート プリント提出	 プリント提出 振り返りシート 行動観察
	第2章　生活圏の調査と地域の展望	1節　生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査をもとに、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探求する手法などについて理解している。 b:生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結びつき、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着手して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度